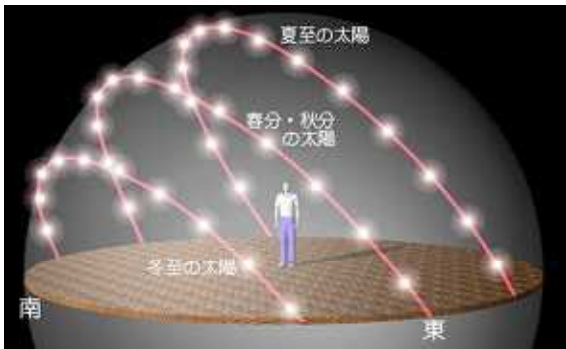


影が消える日

暑い。6月22日は夏至です。南中時の太陽の高度が一番高くなり、昼が一番長く、夜が一番短くなった日です。東京（北緯35度）の場合、夏至の日の太陽の南中高度は78°もあって、まるで頭の真上から照りつけているかのような感じとなります。冬至の時の太陽の南中高度は32°しかないので、その差は46°もあります。この日の12時頃の影は本当に小さくなるのですね。



ところがこの影が無くなってしまふことがあるのを知っていますか？担任が行っていたシンガポールでは北緯1度でしたので、春分の日近くと秋分の日近くに計2度、影が消えるときがあるのです。影が消える、つまり真上から太陽が照りつけるのです。

次の写真を見てください。このように実際に写真で見るとわかりやすいでしょう。ふたつのバトンの影が全く消



えてしまっているのがわかりますね。



そして人の影もこんな風になるのです。これらの写真は2004年9月20日に撮影されたものです。シンガポールでは2004年9月20日12時58分から59分にかけて、太陽がちょうど天頂(頭の真上)を通りました。そのため、影が真下にでき、まるで影が消えたように見えたです。